



2018年3月29日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 助野 健児
(コード番号 : 4901 東証第一部)
問 合 せ 先 経営企画部
コーポレートコミュニケーション室長
吉澤 ちさと
(TEL : 03-6271-1111)

培地のリーディングカンパニー「米国 Irvine Scientific Sales Company, Inc.」
および「株式会社アイエスジャパン」買収に関するお知らせ

当社の完全子会社である富士フイルム株式会社（以下「富士フイルム」といいます。）は、JXTG ホールディングス株式会社（以下「JXTG HD」といいます。）のグループ会社で、細胞培養に必要な培地のリーディングカンパニーである Irvine Scientific Sales Company, Inc.（アーバイン サイエнтиフィック セールズカンパニー、以下「ISUS 社」といいます。）および株式会社アイエスジャパン（以下「ISJ 社」といいます。）の発行済全株式^{*1}を取得する株式売買契約を、本日締結しました。なお、ISUS 社および ISJ 社の全株式取得に要する資金総額は、約 800 百万米ドルです。

培地は、細胞の生育・増殖のための栄養分を含んだ液状や粉末の物質で、バイオ医薬品や再生医療製品などの研究開発や製造における細胞培養に必要不可欠なものです。また、培地の品質によって細胞培養の品質や効率が左右されるといわれており、近年、培地に対する注目がますます高まっています。現在、抗体医薬品を中心としたバイオ医薬品の需要増加、細胞を用いた治療ニーズの急拡大に伴い、培地市場は拡大しており、今後も年率約 10%の伸長が見込まれています。

ISUS 社・ISJ 社は、バイオ医薬品製造向けの培地や体外受精・細胞治療用途の培地などを幅広く取り扱う、培地のリーディングカンパニーです。高い研究開発力や品質管理力、長年蓄積してきた実績やノウハウなどを活かして、顧客ニーズにあわせた最適なカスタム培地を開発することが可能。cGMP^{**2} 基準に準拠した生産拠点で製造し、高品質な製品をタイムリーに供給することができます。ISUS 社が欧米、ISJ 社が日本・アジアを中心に販売展開し、全世界の製薬企業やバイオベンチャー、アカデミアなどに培地を提供しています。

富士フイルムは、ヘルスケア領域の成長戦略を推進する中、バイオ医薬品の開発・製造受託や再生医療などの分野に積極的に経営資源を投入し、事業拡大を進めています。これまでに、FUJIFILM Diosynth Biotechnologies（以下「FDB 社」といいます。）における抗体医薬品向けの生産設備増強、世界トップの iPS 細胞関連技術・ノウハウを持つ Cellular Dynamics International, Inc.（以下「CDI 社」といいます。）の完全子会社化を行うとともに、総合試薬メーカーの和光純薬工業（以下「和光純薬」といいます。）を買収し、培地事業にも参入しました。今回、ISUS 社・ISJ 社の買収により、バイオ医薬品から体外受精・細胞治療の領域にわたり幅広い製品ラインアップをそろえることができるとともに、海外展開も強化することができます。また、写真フィルムで培った高度な化学合成力・設計力、グループのジャパン・ティッシュ・エンジニア

リアング（以下、「J-TEC 社」といいます。）や CDI 社、FDB 社が持つ、細胞の作製・培養技術などを活かして、競争力の高い培地の開発を加速させ、培地事業のさらなる成長を図っていきます。

さらに、富士フイルムグループのバイオ医療関連技術・製品と、ISUS 社・ISJ 社の培地技術・製品などを組み合わせて、培地事業以外でもシナジーを最大化させていきます。具体的なシナジーとしては（1）バイオ医薬品の開発・製造受託事業のさらなる拡大、（2）再生医療分野の研究開発の加速、（3）試薬ビジネスのさらなる拡大、を見込んでいます。

(1) バイオ医薬品の開発・製造受託事業のさらなる拡大

- ・ FDB 社が受託する、バイオ医薬品の開発・製造に、ISUS 社・ISJ 社が持つ、顧客ニーズにあわせた最適なカスタム培地を開発できる培地技術を取り入れることで、生産効率のさらなる向上を実現していきます。バイオ医薬品の中でも特に市場が拡大している抗体医薬品に必要な抗体を、より高品質かつタイムリーに顧客へ提供することで、顧客満足度をより一層向上させるとともに、事業のさらなる拡大を図ります。

(2) 再生医療分野の研究開発の加速

- ・ CDI 社の iPS 細胞作製技術、J-TEC 社が持つ、体性幹細胞の細胞培養技術、ISUS 社・ISJ 社が有する、顧客ニーズにあわせた最適なカスタム培地を開発できる培地技術を組み合わせて、高品質な治療用細胞を効率的に作製し、再生医療製品に応用していきます。なかでも、急速に拡大しつつある CAR-T 療法^{※3}や幹細胞治療などの分野をターゲットに、高機能培地の開発を進めながら、再生医療分野の研究開発を加速させます。
- ・ 自社生産のみならず、受託ビジネスでも、ISUS 社・ISJ 社の培地や技術を活用し、再生医療製品の生産効率のさらなる向上を目指していきます。

(3) 試薬ビジネスのさらなる拡大

- ・ 和光純薬が展開する試薬に、ISUS 社・ISJ 社の培地を加えることで、企業やアカデミアが取り組む、ライフサイエンスの研究ニーズにきめ細かく対応することが可能。試薬ビジネスのさらなる拡大を図ります。

また、富士フイルムは、今後ますます高まるバイオ医療の顧客ニーズに迅速に対応するため、米国に拠点を有する FDB 社、CDI 社、和光純薬、ISUS 社に加えて、新薬の研究開発・製造を支援する製品・サービスのマーケティング拠点を 2018 年度上期に米国ボストンに新設する予定です。本拠点を活用することで、グループの総合力を発揮し、製薬メーカー・バイオベンチャー・アカデミアなどの進化するニーズに対応していきます。そして、バイオ医療業界における顧客満足度・認知度のさらなる向上を図ります。尚、2018 年 4 月 1 日より、CDI 社は「FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc.」に、和光純薬は「富士フイルム和光純薬株式会社」に社名を変更します。

富士フイルムグループは、グループの技術を結集して革新的な製品・サービスを開発・提供するなど、事業を通じた社会課題の解決に積極的に取り組むことで、ヘルスケアの事業成長を加速させ、企業価値のさらなる向上を図っていきます。

※1：JXTG HD の 100%子会社である JX Holdings (U.S.A) Inc. が Irvine Scientific Sales Company, Inc. の株式を 100%保有。JXTG HD の 100%子会社である JXTG エネルギー株式会社が株式会社アイエスジャパンの株式を 100%保有（2018 年 3 月 29 日現在）。

※2：current Good Manufacturing Practice の略。米国 FDA（食品医薬品局）が定めた医薬品および医薬部外品の最新の製造管理および品質管理規則のこと。

※3：患者から採取したT細胞にがんの抗原を認識するキメラ抗原受容体（CAR）の遺伝子を組み込んで、T細胞によるがん細胞への攻撃力を高める治療法。

< ISUS 社および ISJ 社の会社概要 >

ISUS 社

- 会社名 Irvine Scientific Sales Company, Inc.
- 所在地 米国カリフォルニア州 Santa Ana
- 設立 1970 年
- 代表者 佃 幸樹

ISJ 社

- 会社名 株式会社アイエスジャパン
- 所在地 埼玉県戸田市
- 設立 1989 年
- 代表者 永野 裕一

以 上